第７０回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会

大会にかかわるすべての皆さまへ

2022 年 9 月 8 日

一般社団法人

日本実業団陸上競技連合

全日本実業団対抗陸上競技選手権大会開催に向けたガイドライン

新型コロナウイルス感染症への対応策

《第 1 版》

2022 年 9 月 23 日(金)～25 日（日）

岐阜市　岐阜メモリアルセンター長良川競技場

【はじめに】

このガイドラインにおける「大会関係者」とは、以下に挙げる、大会にかかわるすべての方たちを対象とします。新型コロナウイルス感染症「第７波」がまだ収まっていない状況下、感染症予防、拡大防止へのご協力、よろしくお願いします。まだ残暑が厳しい時期での開催となりますので、熱中症予防対策とも併せて、体調管理に万全を期してください。

岐阜県には９月 30 日まで**「ＢＡ.５対策強化宣言」**が発令中です。

岐阜県からは、**全国からの参加者**が想定され、県有施設を活用したイベント開催にあたり、**マスクを外す可能性のある参加者（主に、出場する競技者が対象）**などには、以下の確認を実施するよう求められています。

「３回ワクチン接種歴」

または**「陰性の検査結果」**

今大会では、昨年の前回大会に引き続き、**体温記録活用アプリ「テレサ」**による健康管理を実施します。テレサにある、ワクチン接種歴、検査結果に関する問診に回答してください（証明票類の添付は不要です。自己申告制です）。検査は、可能な限り、岐阜入りする 72 時間前以内を推奨します。

今大会は有料による入場者を予定していますが、感染症が急激に再拡大するなど状況しだいでは、行政の指導の下、「無観客」とする場合があります。

【大会関係者の皆さま】

　競技者、監督・コーチ・スタッフなどチーム関係者、出場チーム企業関係者、競技役員、大会役員・スタッフ、協賛社・サプライヤー各社、来賓、競技場運営者、中継放送局（TBS テレビ）スタッフ、取材メディア、スポーツメーカー各社など、大会期間中（大会前公式練習日を含む）に、岐阜メモリアルセンター長良川競技場に来場する、すべての方々。観客の皆さま。

□１□　本ガイドライン策定にあたっては、下記の各ガイドライン、ガイダンスなどを参照しました。

（１）スポーツ庁「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html

（２）日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html

（３）日本陸上競技連盟「陸上競技再開のガイダンス」
https://www.jaaf.or.jp/news/article/13857/

（４）開催地の岐阜県、岐阜市の「新型コロナウイルス感染症」に関する情報は以下のサイトをご覧ください。

岐阜県　新型コロナウイルス感染症に関する情報

https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/

岐阜市　新型コロナウイルス感染症関連情報

https://www.city.gifu.lg.jp/kenko/covid19/index.html

（５）厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA」を導入

COCOA

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

□２□　岐阜陸上競技協会の役員・審判員の皆さまは、岐阜陸協が定めたマニュアルにのっとってください。

□３□　後日、保健所など行政当局からの問い合わせに備え、各大会関係者は、競技場への往復、競技場の内外での行動範囲のメモを取っておくなど、追跡調査等がある場合への備えをお願いします。

競技中の競技者以外は必ずマスクを着用（不織布マスクを推奨）。

こまめな手指消毒、手洗いを励行。

屋内では十分な換気を心がける。

■　１　■大会開催の可否判断

（１）　新型コロナウイルスの感染状況に応じ、開催地の岐阜県、岐阜市による「大規模イベントの自粛要請」など、行政当局からの指導に対応し、開催が困難と判断された場合は、大会を中止とします。なお、延期はしません。

■　２　■大会への参加

（１）　各所属先の判断を順守してください。都道府県をまたいでの遠征禁止や全国規模の大規模大会への参加が禁止されている場合は、「欠場届」にその旨を記載して、欠場届の手順（「競技注意事項」２．最終エントリー確認手順（４）欠場届について――を参照）に従って大会事務局に提出してください。

（２）　各所属先、あるいは居住地の都道府県から、強制力の伴わない、都道府県をまたいでの外出自粛要請が出た場合は、各自の判断で、責任をもって参加の可否を判断してください。

（３）　大会開幕２週間前（９月９日(金)）以降、競技者・監督・現場指導コーチのいずれかに新型コロナウイルス感染が確認された場合、大会にエントリーしている同一チーム所属の競技者・監督・現場指導コーチ等が濃厚接触者となる可能性がある場合、当該の感染者及び濃厚接触認定者は出場を辞退し、来場を控えてください。

■　３　■観客について

（１）　スタンドの観客入場は有料で、すべて自由席です。観客同士が密にならないよう、間隔を空けてお座りください。マスクは必ず着用。声を上げての声援はお控えください。

感染症の状況によっては「無観客」とする場合があります。

（２）　入場ゲートでは体温を測定します。検温で「３７・5度以上」の体温が測定された場合、少し時間を置いて安静状態で再検温して再度「３７・5度以上」の体温が測定された場合、入場をお断りします。この場合でも入場料金の返金はありません。あらかじめご了承ください。

（３）　入場券を持たない競技者・チーム関係者が観客エリアに入場する場合は、必ずADカードを着用してください。

スタンドの一部にコーチングエリアを設けます。進行中の種目に出場中の競技者の監督・コーチのADカード着用者のみが利用可能です。スペースに限りがありますので、「密」防止のため、エリア利用者の人数を制限する場合があります。

（４）今大会では、長距離種目のフィールド応援ができる入場券を購入された方に限って、フィールドの指定位置での観戦ができます。スペースの広さに限りがありますので、係員の指示に従った、「密」を避ける工夫をし、必ずマスクを着用のうえ、声を出しての応援は控えてください。

■　4　■AD（Accreditation）カード（大会参加資格認定証）

（1）　観客のほかに競技場施設内に入場できるのは、主催者が大会参加資格を認定しADカードを付与した方たちに限られます。「密」を回避し、感染リスク低減の観点から、ＡＤカードの発行枚数は、各カテゴリーの必要に応じて上限を設けています。

（2）　ＡＤカードの種別によって入場（アクセス）可能エリアが分かれますので、ご注意ください。「選手」「監督・コーチ」「チーム関係者」のＡＤカードでは、メインスタンド側のグラウンドレベル階には、競技者が競技者動線を通行する場合と、表彰時など運営上必要な場合以外では、原則入場できません。

（3）　「監督・コーチ」のＡＤカードの配布上限枚数については、

競技者１名につき　　１枚

〃　２～３名につき２枚

〃　４名以上は　　３枚以内

リレー種目のみのエントリーの場合は、１チームにつき１枚。

「チーム関係者」ＡＤカードは、「監督・コーチ」ＡＤと同じ枚数を上限とします。

ＡＤカード交付希望者は、体温記録活用アプリ「テレサ」による体調管理のうえ、来場する日ごとに、アプリの「入場コード」をＱＲコードリーダーに読み取らせて問題がない場合に交付されるシール（日ごとに異なる色で識別）をＡＤカードの所定の位置に貼付のうえ、入場してください。

■　5　■大会を迎える前に

（1）　日々の練習、日常生活における感染予防に努めてください。

感染の主流が変異株のオミクロン株に置き換わって以降、7月以降の「第7波」にみられるように、競技者間の接触が多い競技や寮生活などで日常的に接触機会の多いスポーツ部活動を中心に、以前にもましてクラスター（集団感染）発生の事例が報告されています。陸上競技は比較的、接触の機会が少ない競技特性がありますが、第6波以前より感染の報告は増えています。引き続き、予防を心がけてください。

（2）　ひとつの「密」でも場面によっては高い感染リスクがあると指摘されています。「密」の回避やマスク着用、手洗い・手指消毒の励行、ソーシャルディスタンスの確保、大人数や普段接することのない人たちとの会食、人出の多い繁華街や雑踏への不要不急の出入りを引き続き控えるなど、感染リスクの最小化に努めてください。

■　6　■大会会場への往路・復路の移動中

（1）　公共交通機関を利用する場合は、「密」の回避やマスク着用、手洗い・手指消毒の励行など、感染予防に努めてください。また、マスク着用であっても同行者との大声での談笑や多くの人数でかたまっての集団行動を慎むなど、周囲の方たちへの配慮をお願いいたします。

（2）　自家用車やマイクロバス、レンタカーなど、車で来場する場合も、車内

の換気や、適切な距離の確保など、感染リスクの低減に努めてください。

なお、競技場付属の大会参加者用専用駐車場はありません。周辺の有料駐車場を利用してください。

■□■□■体調管理チェックシートの記入と提出■□■□■

※大会関係者すべてが対象となります

（1）　競技者・監督・コーチなどチーム関係者は、スマートフォンの体温記録活用アプリ「テレサ」使用となります。利用方法は当連合 HP に掲載します。「テレサ」に対応できない競技者、監督・コーチ、チーム関係者は、紙の体調管理チェックシートを使用。

（2）　上記以外の大会関係者は、紙の体調管理チェックシートを使用。

■　7　■大会前と当日

＜競技者・監督・コーチなどチーム関係者、実業団大会役員・スタッフ＞

（1）　大会１週間前の９月 16 日（金）から検温結果などチェック項目をアプリ（または体調管理チェックシート）に記録。

（2）　アプリ利用者は大会期間中、その日の検温などのチェック結果をアプリに記録したあと、スマホ画面に「入場コード」を表示し、競技者受付横にあるＱＲコードリーダーに読み取らせ、問題がなければ、受付でシール（日別に色違い）の交付を受け、ＡＤカードの所定の位置に貼付して

ください。競技場内に入場する際は、シール貼付ずみのＡＤカードを、係員が確認しやすいよう着用。

（３）　テレサに対応できない競技者、監督・コーチ、チーム関係者は、最初の競技者受付の際に、大会１週間前から当日までのチェックシートの控えを提出し、確認を受けてください。原本は各人で保管してください。競技者受付横の検温所での検温で問題がなければ、シール（日別に色違い）の交付を受けてください。同様に大会第２日の２４日（土)、最終日の２５日（日）も引き続き来場する場合は、各日のチェックシートの控えを競技者受付に提出し、確認と検温を受け、問題がなければシールが交付されます。シートの原本は、各人で管理してください。

<その他の大会関係者>

（１）　それぞれの受付に体調管理チェックシートを提出し、確認を受けてください。

・競技役員＝岐阜陸上競技協会の競技役員受付

・取材メディア＝報道受付

・来賓・その他来場者＝実業団連合受付

（２）　大会１週間前の９月１６日（金）から検温結果などチェック項目を体調管理チェックシートに記録。

＜ご注意ください＞

（１）　ＡＤカードの使い回しは厳禁です。体調管理チェック結果の未提出者による使い回しが判明した場合、そのＡＤカードは没収します。

（２）　９月１９日（月）～２２日（木）の４日間のいずれか、また、大会期間中の３日間のいずれかに、「３７・５度以上」の体温、せき、倦怠感、味覚・嗅覚障害などの新型コロナウイルス感染症特有の症状がみられた場合は、大会への参加をお断りします。はっきりした症状はないものの疑わしいとみられる場合も、大会参加を控えてください。

（３）　大会関係者から感染者が確認された場合、担当保健所や行政機関からの求めに応じ、個人情報に最大限の配慮をしたうえで、当該機関に情報を開示することがあります。

（４）　上記の事例以外では、紙提出のチェックシートは、主催者の日本実業団陸上競技連合が大会終了後１か月間、厳重に管理し、１か月経過後、シュレッダーで裁断処理します。当連合以外で、構成メンバーからシートの提出を受けた各団体も、厳正に管理するとともに大会終了１か月後、シュレッダーによる裁断処理など個人情報保護に配慮した方法で処理してください。

■　８　■大会後

（１）　９月２６日（月）～１０月９日（日）の２週間、「テレサ」あるいは「体

調管理チェックシート」に記入し、健康観察を継続してください。テレサのデータあるいはシートは各自で管理し、異常がなかった場合は、報告・提出の必要はありません。

（２）　万が一、感染が確認された場合は、日本実業団陸上競技連合に報告してください。当連合では個人情報の取り扱いに最大限配慮し、担当保健所、行政機関の指導のもと、濃厚接触者と認定される可能性がある方たちがいた場合、その旨を該当者に伝え、感染拡大の抑止に努めます。

■　９　■大会開幕前の公式事前練習日の取り扱い

（使用時間など詳細は「練習会場に関する注意事項」をご覧ください）

（１）　大会開幕前日の９月２２日（木）はメインスタジアムのみが使用可能。体温チェックのうえ、ご利用ください。競技場内では、練習時以外はマスクを着用願います。「３７・５度以上」の体温がある方は利用できません。

■　１０　■競技場利用にあたっての一般的注意事項

（１）　変異株（オミクロン株）への置き換わりによって、「密接」「密集」「密閉」のうち、ひとつの「密」でも感染リスクは高まると言われています。ソーシャルディスタンスを確保しながら、競技者は、競技中、ウオーミングアップ、クールダウン中以外は、マスクを着用してください。競技者以外の大会関係者は常時、マスクを着用してください。まだ残暑のある時期です。周囲に人がい

ない場所では適宜マスクを外すなど、熱中症対策にご留意ください。

（２）　周囲に人が集まる場所では、マスク着用であっても大声を上げるのは控えてください。

（３）　ごみ箱は設置しません。ごみは各人で持ち帰ってください。とくに、不要となったマスクや手指消毒した際のウェットティッシュペーパー、布類などのごみは、密封したごみ袋などで持ち帰るよう、衛生管理に工夫をお願いいたします。

■　１１　■監督会議

（１）　９月２３日（金）１４時３０分から開催する監督会議は、「密」を回避するため、オンライン（会議アプリＺｏｏｍを使用）で行います。会議室ＵＲＬは以下の通りです。１チームあたり参加者は１名のみとします。Ｚｏｏｍにアクセスする際はアカウント名を必ず「チーム名・役職（監督、コーチなど）・出席者氏名」と表記してください。チーム名は判別できれば略称も可です（企業チームの場合、株式会社や(株)は省略)。出席者を照合するため、早めのアクセスをお願いします（アクセスが集中した場合は、「入室」まで少々お待ちいただきます)。

監督会議 Zoom ミーティング

https://us06web.zoom.us/j/81957402587?pwd=NmZnTzlrMmhRSlpwRXBEWXU3cllIQT09

ミーティング ID: 819 5740 2587

パスコード: 435274

質疑の際は、リアクションの「手を挙げる」✋を表示し、進行役から指名されたのち、チーム名とお名前をおっしゃってから質問してください。

■　１２　■競技者受付

（１）　第４ゲート（補助競技場側）脇に設ける競技者受付で受付をすませてください。受付を待つ列では、ソーシャルディスタンスを確保してください。

１次招集は Google フォームでもできます。競技注意事項で確認してください。

■　１３　■招集・競技場への入退場

（１）　招集時、入退場時とも「密」を避けるため、現地では競技役員の指示に従ってください。

■　１４　■更衣室

（１）　競技者動線と競技役員・大会役員スタッフ等との動線を厳密に区分する目的から、競技者が利用できる更衣室は、メインスタンドの正面スタンド下となります。長時間の滞在は禁止です。換気に各自気をつけてください。更衣室内ではマスク着用。会話は控えてください。

■　１５　■コーチングエリア

（1）　スタンドの一部にフィールド種目のためのコーチングエリアを設けます。利用にあたっては「密」回避への協力をお願いします。進行中の種目に出場中の競技者の監督・コーチで「監督・コーチ」「チーム関係者」AD カード着用者のみが利用可能です。スペースは広さに限りがあります。「密」防止のため、エリア利用者の人数を制限する場合があります。

（2）　競技中の競技者にアドバイスする際は、飛沫を防ぐ工夫をして、周囲にいる人たちへの配慮をお願いいたします。コーチングエリア内でもマスクを着用し、飛沫が四散するような大きな声を出すことは控えてください。

■　１６　■スタンドからの声援

（1）　チームメイトの「選手」「監督・コーチ」「企業・チーム関係者」の各 AD カード保持者がスタンドから声援を送る場合は、他チームのグループとの適切な距離を確保するとともに、同一チーム内であってもソーシャルディスタンスの確保に努めてください。周囲に配慮しながら、飛沫を防ぐ工夫をしてください。

■　１７　■表　　彰

（1）種目別表彰では、1～3 位を対象に、種目終了 30 分後をめどに、正面スタンド前の中央エリアで行います。競技役員の指示に従ってください。プレゼ

ンター側はマスクを着用します。テレビ・写真撮影時、競技者はマスクの着用は不要ですが、セレモニー終了後はすみやかにマスクを着用してください。

■　１８　■スタートリスト・記録の発表方法

（１）　「密」を回避するため、掲示はとりやめます。大会の速報サイトで発表しますので、こちらをご利用ください。

■　１９　■取　　材（詳細は取材要項に記載）

（１）　「密」防止のため、取材者の総数、及び各社の来場者に上限を設けるとともに、すべて事前申請とします。ただし、ライツホルダーである毎日新聞社、TBS テレビの人数は別枠として取り扱います。

（２）　記者室利用、撮影時、取材時は「密」を避けるため、競技役員の指示に従ってください。また、各人で話し合って適切な距離を置くなど「密」回避への工夫をお願いします。

（３）　付帯施設を含め競技場内ではマスクを着用してください。こまめな手洗い、手指消毒をお願いします。

（４）競技終了後、ミックスゾーンでの取材の際は、係員の指示に従い、「密」を避ける工夫をお願いします。

（５）報道目的ではなく、各種マラソン・駅伝大会等の事務局スタッフが選手勧誘・挨拶・視察等の目的で来場される場合は、取材申請ではなく、別途、日本実業団陸上競技連合事務局に視察目的での事前申請をお願いします。事

前申請がなく当日来場された方は、体調管理チェックシートの提示があったとしても視察はお断りいたします。

■　２０　■出場チーム広報（詳細は別途ご案内に記載）

（１）　「密」防止のため、グラウンドレベルで取材・撮影ができるのは報道目的のメディアのみです。出場チーム広報の方の撮影は、スタンドからとなります。報道受付で受付をすませ、撮影者用ビブスを必ず着用のうえ、撮影可能エリアから撮影にあたってください。撮影禁止エリアには立ち入りも禁止です。

チーム関係者の AD カード交付を受けた方は、ビブスのほかに AD カードの着用をお願いいたします。